

# 【概要】令和6年度 府立学校の業務改善等の取組状況

## 令和6年度の取組状況

令和6年度に各府立学校で特に効果があった業務改善の取組を項目別に集計

### 1 ICTの有効活用

(1) 会議や情報共有の合理化 56校 (約93%)

- ・教職員間の打ち合わせ等の効率化
- ・会議資料のペーパーレス化、時間縮減

(2) 調査・集計等の合理化 55校 (約92%)

(3) 学習指導改善・保護者連絡等の合理化 55校 (約92%)

### 2 行事の工夫・改善等 36校 (約60%)

- ・体育祭や宿泊行事等、学校行事の実施方法の工夫や内容の重点化等

### 3 部活動の運営改善 30校 (約50%)

- ・部活動の運営工夫等
- ・部活動指導指針に定める活動時間厳守の徹底

### 4 その他 26校 (約43%)

- ・勤務時間終了を知らせるチャイム、退勤時間を意識するための音楽を流す
- ・通知表の所見欄の廃止

等

## 特に効果のあった取組の紹介

### 1 ICTの有効活用

課題：保護者向けアンケートや感想を紙ベースで行っていたため集計やまとめに時間がかかっていた。



取組  
効果

Formsを利用し、二次元コードも示すことでスマートフォンからの回答が可能となり、集計の手間が減り、回答率も上がった。

### 2 行事の工夫・改善等

課題：2学期に大きな行事が重なることで、教職員の負担が大きかった。



取組  
効果

体育祭を1学期に行うなど、行事の時期を分散させたことで、暑さ対策等について軽減され、また、1つ1つの行事に力を入れることができた。

### 3 部活動の運営改善

課題：部活動指導者の会議設定が難しかった。また、学部間の交流が少なかった。



取組  
効果

学部に関わらず全校体制で顧問を配置することで、顧問のローテーションが可能となったため会議設定がしやすくなり、他学部の教員が高等部の生徒を知る機会となった。

## 4 その他

課題：勤務時間や、19時を超えた業務遂行に対して意識が低い教職員がいる。



取組  
効果

17時にチャイム、19時には時間を知らせる音楽を流した。退勤時間の見通しをもち、メリハリのある中で業務を遂行することができるようになり、全体の超過勤務時間の削減につながった。

課題：放課後の当番制下校指導が負担となっていた。



取組  
効果

下校を促す放送を録音したものにすることで、当番制を廃止できた。遅い時間まで教員を拘束する必要がなくなり、勤務時間の自由度が増した。

Pickup!

### オンデマンド活用による負担軽減

#### ○課題：同じ内容の説明会を複数回実施していた。

同じ内容の説明会を複数回実施していたため、打合せや準備などが大きな負担となっていた。

#### ○取組と効果：オンデマンド化により、負担軽減&いつでも視聴可能！

様々な説明をオンデマンド化したことにより、打合せ会議の時間や準備時間等が減少し、負担が軽減された。また、同じ説明をいつでも何度でも繰り返し視聴することが可能になった。

### Zoomによる合同会議で負担軽減

#### ○課題：本校と分校の教職員が交互に移動して職員会議を実施していた。

合同職員会議（本校・分校）を実施するために、毎月1回どちらかの教職員が車で移動して会議に参加していた。

#### ○取組と効果：Zoom利用で移動せずに合同会議に出席可能となった！

Zoomを利用することで車での移動がなくそれぞれの会議室で合同会議に出席可能となり、教職員の負担感が軽減された。